

弁護士法人樋口国際法律事務所

国際案件を含めた幅広い対応力 信頼関係を重視した真のパートナー

気軽なコミュニケーションを通じた
「かかりつけ」弁護士として
紛争を予防し解決する

今、ご利用の弁護士には、本当の意味で遠慮や気兼ねなくご相談ができていますか？ せっかく顧問契約をして固定費を支払っているのに、気軽な相談をしにくいという話をよく耳にします。

顧問料は保険料ではなく、日常的なサービスへの対価です。弁護士は、早めに相談することで真価を発揮します。有事の際はもちろん、平時にも気軽なコミュニケーションを取ることで紛争を予防することができます。

当事務所は、クライアントの真のパートナーとして寄り添い、どんなときも、どんなことも、忖度なくご相談いただける存在でありたいと考えます。

経営者は孤独です。特に一人で判断しなければならない中小企業の経営者は尚更です。そんな皆様の信頼できる話し相手でありたいと思います。また、大企業にも「日常使い」しやすいとご好評をいただいております。案件に応じて大手事務所と併用いただくことも多くございます。

中小・ベンチャー企業の国際ビジネスを
支援し日本経済に活力を

当事務所のサービス分野は多岐にわたりますが、国際ビジネスのサポートをひとつの柱としています。英文による各契約の作成や交渉、外国企業とのM&Aや紛争対応、外国拠点の設立などにつき、ワンストップでサポートしています。ニューヨーク州の資格も有する代表弁護士は米国での勤務経験もあり、国際法曹団体での活動等も通じた独自の国際的なネットワークを築いております。対応

エリアは、北米に限らず、欧州、アジアの主要国に、信頼できるローカルパートナーがおり、案件に応じた協働が可能です。

特に注力しているのが中小・ベンチャー企業の支援です。国内需要が縮小傾向にある日本において、技術ある中小・ベンチャー企業が存続、発展していく鍵は海外展開にあるといえますが、大規模又は外資系の事務所はコスト的に敷居が高く、それ以外の事務所における国際案件への法的サポートは不足しています。当事務所には、国際ビジネスの経験も語学力も不安という方もよくご相談に來られますが、基本的な心構えから丁寧に説明させていただいております。

すでに実績がある企業はもちろん、これから国際ビジネスに挑戦しようという企業も親身にサポートし、リスクを最小限にとどめ、発展に寄与したいと考えています。

ビジネスのスピードとバランス感覚を重視し、
合理的で柔軟な費用体系を提供

専門家としてサービスを高品質に保つことは当然ですが、ビジネスクライアントの伴走者として、現場に沿ったスピード感とバランス感覚が極めて重要であると考えます。

依頼した弁護士の反応が遅いという不満をよく耳にしますが、ビジネスあつての弁護士業務ですから、弁護士がビジネスのスピードを阻害することはあてはなりません。

また、弁護士に相談しても、教科書的な回答しか得られず、結局は自分で判断しなければならないという声も多いです。それは、担当の弁護士が自分の責任で意見を述べられないことにも起因するかもしれませんが、弁護士は、単に法的意見を述べるだけではなく、ビジネスの実情に照らし、

クライアントに現実的な指針を与えるところまで踏み込むことで、存在意義が生まれると考えます。

そして、弁護士費用は高いとのイメージを持たれていますが、それは一律でのタイムチャージが理由であることが多いといえます。当事務所では、事案に応じて固定制や上限制を設けたり、複数の弁護士が同時にチャージすることによる高額化を抑制するなど、費用の合理化に努めています。柔軟な費用設計は、独立系事務所ならではのメリットといえます。

一般企業法務、紛争解決から国際案件まで
～求められるジェネラリストに～

(1) 幅広い対応分野

当事務所の対応分野は多岐にわたります。上記の国際案件はもちろん、コーポレート、M&A、各種取引契約、人事労務、知的財産、不動産、そして紛争解決まで、企業の運営や取引に伴って一般的に生じる一連の不安や悩みを解消いたします。

当事務所は少数精鋭のジェネラリストです。

弁護士業界、特に大規模事務所では分野の専門化が進んでいる中、当事務所は、各分野の全てにおいてそのような専門家と同等であると申し上げるつもりはありません。しかし、どのような案件でもワンストップで相談できる存在は引き続き求められていると感じています。特別な知識やノウハウが必要な案件については、責任をもって外部を含めた適切なチームを組んで対応いたします。

(2) 紛争解決の経験を踏まえた紛争予防

当事務所は、訴訟等の法的手続を含む紛争解決にも日常的に取り組んでおります。

弁護士の専門化に伴い、自身では裁判所には行かないという弁護士も増えていきます。M&A専門の弁護士はM&Aのみを業務とし、紛争となった場合は訴訟専門の弁護士が対応する、といった分業も進みつつあります。それは、高度な案件に対応するには適する場合もありますが、契約交渉をはじめとする紛争の予防にあたり、紛争を自ら経



樋口一磨弁護士(代表パートナー・写真中央)
99年慶應義塾大学法学部卒。03年弁護士登録。
07年米シガン大学LLM。08年ニューヨーク州弁護士登録。
22年公認不正検査士登録。メディアへのコメント・出演多数。

験しているかどうかは、とても重要な意味を持つと考えます。

医者と同様に、弁護士は、病气(紛争)になってからではなく、それを事前に予防する役割が重要です。紛争を防ぐには、法的手続へと進んだ場合を含めた将来のシミュレーションが重要となりますが、そこでは実際の紛争対応の経験が生きてきます。

当事務所では様々な状況に対応いたしますので、どのような案件でもお気軽にお問い合わせください。

弁護士法人樋口国際法律事務所

弁護士数: 弁護士5名、司法書士1名(2024年11月末日現在)
代表弁護士: 樋口一磨(東京弁護士会)
〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町2-3-6
淡路町トーセイビル7階
TEL: 03-5207-3337
URL: <http://www.higuchi-law.jp>
Mail: info@higuchi-law.jp

国内: コーポレート／コンプライアンス／M&A／フランチャイズ／人事労務／知的財産／IT／各種契約(外資系企業との交渉を含む)／訴訟、調停等による紛争解決
国外: 外国企業との供給契約、販売代理店契約、ライセンス契約、フランチャイズ契約、合弁契約等／外国企業とのM&A／外国現地法人の設立支援／外国企業との紛争解決(米国、欧州、アジアの主要国に広く対応)
◎所属弁護士による主な著書等(共著含む)
『中小企業海外展開支援 法務アドバイス』(経済法令研究会、2013)、『International Commercial Agency and Distribution Agreements』(Wolters Kluwer, 2017)、『ポイントがわかる! 国際ビジネス契約の基本・文例・交渉』(日本加除出版、2019)、『中小企業法務のすべて(第二版)』(商事法務、2023)、ほか多数。
代表の樋口弁護士はメディア出演も多数。